

# 根上中だより



E-mail [neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp](mailto:neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp)

HP <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/neagari/>

発行者 根上中学校校長

木下 浩明

TEL 0761-55-0160

FAX 0761-55-0456

## ■SDGs「使い捨てカイロ回収」で水質改善！

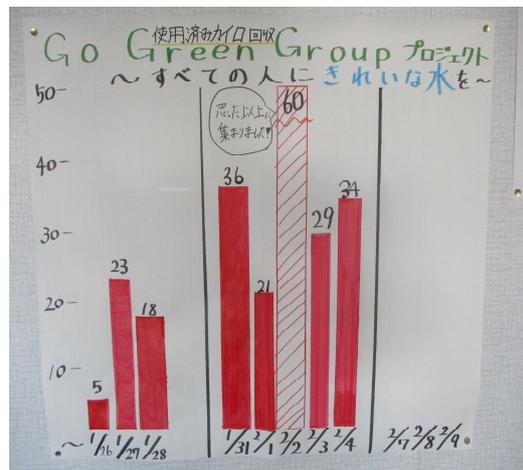


生徒会執行部が、1月26日(水)～2月9日(水)の期間、朝の挨拶運動の際に、「使い捨てカイロ回収」に取り組みました。これは”Go Green Group”プロジェクトに参加した取り組みです。能美市はSDGs未来都市宣言をしており、SDGsが目指す17のゴールのうちの「安全な水とトイレを世界中に」につながるものです。使い捨てカイロが汚れた水の濾過に役立ち、すべての人にきれいな水が提供できる

という趣旨に、根上中学校生徒会が賛同し、取り組むこととなりました。たくさんの生徒が使い捨てカイロの回収に協力してくれました。

未来の地球を考えるきっかけになってくれるといいですね。

”いいねえー！根上中生徒会！” ”がんばろう！根上中！”



## ■国際交流「年賀状 From シェレホフ市」

新聞や能美テレビで報道されたように、1年生の希望者がロシア・シェレホフ市の同世代の子どもあてに、メッセージ付きポストカードを作成し送りました。そのお返しに、同市の美術学校に通う子どもたちから、お返しのポストカードが届きました。心が込められた作品が多く、時間をかけて丁寧に制作されたこともわかりました。

日本では雪だるま、欧米ではスノーマン、文化の違いで雪だるまには足がなくスノーマンには足があることがポストカードからわかりました。1年生のなかには、この取り組みを通して、コロナ禍の現在できていない訪問交流に参加したいという希望を持った生徒も多くいます。

国際理解が深まる取り組みに参加した1年生”いいねえー！”



## ■1年生思春期講座「命」を学びました～

1年生が、1月31日(月)に、菜の花助産院の植田先生から、命について学びました。自分がこの世に生を受けた時の記憶は、ほとんどの人に残っていません。助産院に勤務している先生が、その時の様子を伝えてくれました。かけがえのない命、親の願い…気づかせられることが多かったのではないのでしょうか？大切な学びがあったと思います。



## ■1年生「ようこそ先輩」



能美市の新しい企画「ようこそ先輩」が2月7日(月)の午後、寺井中のステージから、根上中1年生の各クラスにリモート配信されました。講師は、中日本高速道路株式会社代表取締役の増田優一氏で、能美市佐野町出身のいわゆる先輩です。この企画は、能美市出身で各界で活躍されている人から学ぶことを目的に今年度スタートしたものです。能美市にはこのような先輩がたくさんいます。

増田氏は、東京大学を卒業し、当時の建設省に官僚として入られ、国土交通省の事務次官まで務められた経歴の方で、夢の実現や、現実の厳しさ楽しさやりがいなどについて、自己の経験に基づき、能美市内3中学校の1年生に語ってくれました。まだまだ、将来のことが見えていない1年生にとって、先輩の経験を聞くことは、将来を考えるいいきっかけになったのではないのでしょうか？

増田様ありがとうございました。そして”がんばろう！1年生！”

## ■2年生「立志式」…ポイントは、やる気を出して努力！

2月4日(金)に、オンラインで2年各教室とつなぎ、校長を講師として「立志式」を行いました。これまで、能美市では3中学校の2年生を根上総合文化会館に集め、講師を招き、立志式を開催していました。今年からは各学校でということになり、根上中学校として立志式を開催しました。

立志という節目に、自立をテーマに2年生にお話ししました。題材としては、もしもドラえもんが壊れたら…あなたならどうする？で、2年生の皆さんに考えてもらいました。

自立には”やる気”を出して、”努力”することが大切なことをメッセージしました。1年後には根上中学校を巣立つ2年生には、まずは春から3年生として学校をリードする頼もしい2年生になってほしいと思います。”がんばろう！2年生！”

